

報告事項キ

平成29年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

平成29年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について、別紙のとおり報告します。

平成29年10月13日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成29年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

平成29年10月13日

特別支援教育課

1 目的

- (1) 特別支援学校の生徒の状況を事業所に周知し、障がいへの理解・啓発を促進する。
- (2) 本人、障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表し合い、参加者全員が障がい者の就労についての理解を深め、就労促進について考える機会とする。

2 実施概要

(1) セミナーの概要

東部地区	中部地区	西部地区
7月12日(水)	6月6日(火)	9月12日(火)
会場：鳥取県立福祉人材研修センター	会場：琴の浦高等特別支援学校	会場：県立米子養護学校
<ul style="list-style-type: none">・生徒意見発表・各校の取組発表・生徒の出し物・作業製品販売	<ul style="list-style-type: none">・学習公開・専門教科の学習体験・マイキャリアメッセージ・生徒、卒業生による意見発表・作業製品販売	<ul style="list-style-type: none">・生徒によるアピール(学校紹介、意見発表)・卒業生による意見発表・就労事例発表

(2) 参加者数

	東部地区	中部地区	西部地区
事業所	93名(83社)	48名(35社)	37名(31社)
関係機関・保護者等	22名	70名	74名
合計	115名	118名	111名

3 成果等

- ・事業所の方に、実際に生徒の活動の授業や活動の様子を見ていただくことで、特別支援学校の生徒の働く思いや力について知ってもらうことができ、実習や就労の開拓へとつながっている。
- ・関係機関からは、企業担当者が就労促進セミナーに参加したことをきっかけに、数年後に障がい者雇用に踏み切るケースが何件かあり、継続的に取組んできたことが実を結んでいるという声もあった。
- ・各圏域において、実行委員会を設け、運営することを通して、関係機関、特別支援学校間の連携が深まっている。

<参加者の感想より>

- 就労促進セミナーに参加して他校の生徒の意見発表や体験の発表を聞きました。高等部卒業後、自分に合った仕事に就職できるように力をつけていきたいと思います。生徒発表の進行では、大勢の人前で話をするのは難しかったですが、友だちと一緒に最後まで務めることができ、自信になりました。(東部・生徒)
- 職場実習を不安を抱きながら段々に成長し、最後には自信をもてるようになった過程がよく分かりました。お二人とも堂々と自身を持った発表は素晴らしかったです。これからの社会生活の中で自信を持って生きていただきたいと思います。(東部・福祉)
- 実習を通じて自分で感じたこと、企業から教えられたこと等、自分が得意とすること、苦手なこと等を知り、次に生かしていこうとする言葉に強い意志を感じる事ができた。(東部・企業)
- 専門教科の公開授業では、生徒さんの取組が良くわかりました。欲を言えば作業中に質問する機会を与えていただければと思います。マイキャリアメッセージで本人の良い所(得意なこと)、不得意なこと(苦手なこと)を理解できていることは素晴らしいことだと思います。今後も継続して、このようなセミナーを実施していただければ、企業としてもありがたいです。(中部・企業)
- 企業の方に理解していただき、良い機会だと毎年思っています。子ども達への理解を深めていただき、社会への一歩を手助けしていただき就職へとつなげてほしいです。たくさん参加してほしいですね。子ども達もこのフェスタで働くことの大切さを一段と感じていると思います。(中部・保護者)
- 神楽を通じたチームワーク、責任感 etc を育まれている様子がよく分かりました。意見発表についても企業例としても大変役立つ、参考になる内容でした。(西部・企業)
- 障がいのある方でも本人と会社の業務がうまくマッチすれば大いに戦力になる人材ではないかと思えます。現場での体験実習をお願いします。(西部・企業)